

## ※高齢者(65歳以上)への用量制限

	初回のみ	継続
睡眠薬	マイスリー5mg ルネスタ 1mg	ベルソムラ 15mg ルネスタ 2mg ハルシオン 0.25mg サイレース 1mg
抗不安薬	—	ソラナックス 1.2mg デパス 1.5mg
抗精神病薬	—	—
抗うつ薬	—	トレドミン 60mg
気分安定薬	—	—
抗認知症薬	—	—
その他	—	—

<http://commulabo.com>

## ※肝機能障害や腎機能障害での減量

	肝機能障害で減量	腎障害で減量
睡眠薬	全て (ロラメットを除く)	ルネスタ、オレキシン系(ボルズィを除く)
抗不安薬	全て (ワイパックスを除く)	—
抗精神病薬	全て	リスパダール、インヴェガ、クロザリル、ベンズアミド系 (ドグマチール、グラマリール)
抗うつ薬	全て	パキシル、トレドミン、サインバルタ、リフレックス
気分安定薬	全て	リーマス、ラミクタール
抗認知症薬	全て	メマリー、レミニール
その他	全て	ビ・シフロール、レグナイト、レグテクト

## ※運転可能(禁止なし)

睡眠薬	超短時間作用型、短時間作用型 ※睡眠終了後に可能
抗不安薬	なし
抗精神病薬	なし
抗うつ薬	SSRI(ルボックスを除く)、SNRI
気分安定薬	なし
抗認知症薬	レミニール

# 心療内科・精神科の薬(2026)

- 睡眠薬□使用例
- 抗不安薬□使用例
- 抗うつ薬□使用例
- 気分安定薬□使用例
- 抗精神病薬□使用例
- 抗認知症薬□使用例
- 薬剤性パーキンソン症候群治療薬
- ADHD治療薬
- アルコール依存症治療薬

※肝障害や腎障害での減量

※運転可能な薬

※長期処方可能な薬

※胎児リスク

※高齢者への用量制限

## □使用例

	薬剤
入眠困難	ボルズィ、ゾルピデム
中途覚醒、浅眠、早朝覚醒	ブロチゾラム、フルニトラゼパム
高齢	ロゼレムまたはオレキシシン系
不安による不眠	エチゾラム
肝障害	ロラメット

### ※注意

直後：筋弛緩作用→ふらつき(転倒)、呂律不良、呼吸抑制

脱抑制、せん妄

翌日：持ち越し効果→朝の眠気

長期：依存形成、耐性、離脱症状、認知機能障害

### ※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用

# ■睡眠薬

	作用時間	一般名	商品名	用量用法	作用/副作用				備考
					催眠	筋弛緩	抗痙攣	依存性	
メ	—	ラメルテオン	ロゼレム	8mg	±				併用禁忌:フルボキサミン
オレキシン系	超短	ボルノレキサント	ボルズィ	5-10mg	+	0			マクロライド系薬剤で減量
	短	ダリドレキサント	クービビック	25-50mg					
	中	スボレキサント	ベルソムラ	15-20mg					
	長	レンボレキサント	デエビゴ	2.5-10mg					
Z系	超短	ゾルピデム	マイスリー	5-10mg	+	±			翌朝に苦味
		エスゾピクロン	ルネスタ	1-3mg					
		ゾピクロン	アモバン	7.5-10mg					
ベンゾジアゼピン系	短	トリアゾラム	ハルシオン	0.125-0.5mg	++	+	±	++	夜間せん妄
		ブロチゾラム	レンドルミン	0.25mg	+	+	±	+	
		ロルメタゼパム	ロラメット	1-2mg	+	+	±	+	重度肝障害にも可
	中	リルマザホン	リスミー	1-2mg	+	+	±	+	※ベンゾ誘導体
		エスタゾラム	ユーロジン	1-4mg	+	+	±	+	
		フルニトラゼパム	サイレース	1-2mg	++	++	±	++	注射剤も
		ニトラゼパム	ベンザリン	5-10mg	+	++	++	+	
長	クアゼパム	ドラール	15-30mg	+	+	±	+		

## ■抗不安薬

	作用時間	一般名	商品名	用量用法	作用/副作用				備考
					抗不安	筋弛緩	抗痙攣	依存性	
セ		タンドスピロン	セディール	5-60mg/1-3x	±	0	0	0	セロトニン作動性
ベンゾジアゼピン系	短	トフィソパム	グランダキシン	50-150mg/1-3x	±	±	±	±	自律神経調節作用
		クロチアゼパム	リーゼ	5-30mg/1-3x	±	±	±	±	
		エチゾラム	デパス	0.25-3mg/1-3x	++	++	±	++	
		アルプラゾラム	ソラナックス	0.4-2.4mg/1-3x	+	+	±	+	
中	ロラゼパム	ワイパックス	0.5-3mg/1-3x	+	+	±	+	重度肝障害にも可	
	ブロマゼパム	レキソタン	1-15mg/1-3x	+	+	±	++		
	クロキサゾラム	セパゾン	1-12mg/1-3x	++	+	+	++		
長	ジアゼパム	セルシン	2-15mg/1-3x	+	++	++	+	注射剤は緩徐静注 坐剤	
		ダイアップ	4-10mg/1x						
	クロナゼパム	リボトリール	0.5-6mg/1-3x	+	++	++	+	抗てんかん薬	
超	ロフラゼプ	メイラックス	1-2mg/1x	+	+	+	+		

## ※長期処方可能(30日制限なし)

睡眠薬	デエビゴ、ベルソムラ、ロゼレム、ルネスタ、リスミー、ベンザリン
抗不安薬	セディール、グランダキシン、セルシン、ランドセン、フェノバル
抗精神病薬	全て
抗うつ薬	全て
気分安定薬	全て
抗認知症薬	全て

## ※胎児へのリスク

	低	中	高
睡眠薬	ロゼレム、ルネスタ ベルソムラ	ハルシオン、ユーロジン ドラール	マイスリー ダルメート
抗不安薬	—	ワイパックス、セルシン	ソラナックス メンドン
抗うつ薬	サインバルタ リフレックス	ジェイゾロフト、レクサプロ イフェクサー、トレドミン ルボックス	パキシル
気分安定薬	—	ラミクタール、テグレトール	デパケン、リーマス
抗精神病薬	全て	—	—
ADHD 治療薬	ストラテラ、インチュニブ	コンサータ	ビバンセ
漢方薬	全て	—	—

## ■薬剤性パーキンソン症候群治療薬

一般名	商品名	用量用法	備考
ビペリデン	アキネトン	1-6mg/1-3x	抗コリン作用→認知機能低下 ※筋注剤も
バルベナジントシル	ジスバル	40-80mg/1x	遅発性ジスキネジアのみに適応

## ■ADHD治療薬

	一般名	商品名	用量用法	備考
ドパミン刺激薬	リスデキサンフェタミン	ビバンセ	30-70mg/1x朝	食欲不振、不眠 ※登録必要
	メチルフェニデート	コンサータ	18-72mg/1x朝	
選択的アドレナリン受容体作動薬	グアンファシン	インチュニブ	1-6mg/1x	めまい、過鎮静
NRI	アトモキセチン	ストラテラ	40-120mg/1-2x	嘔気

## ■アルコール依存症治療薬

	一般名	商品名	用量用法	剤型	半減期	備考
減酒薬	ナルメフェン	セリンクロ	10-20mg/1x			※専門医処方
	アカンプロサート	レグテクト	2g/3x			
抗酒薬	シアナミド	シアナマイド	7ml/1x朝	液剤	1日	禁忌：多量飲酒 →劇症肝炎
	ジスルフィラム	ノックビン	0.1g/1x朝	粉末剤	1-2週	

## ■ 抗認知症薬

	一般名	商品名	用量用法	適応			副作用	備考
				軽度	中度	高度		
コリン作動薬	ドネペジル	アリセプト	3→5mg/1x(1-2w) 5-10mg/1x	○	○	○	下痢 興奮	貼付剤
		アリドネ	27.5mg-55mg					
	ガランタミン	レミニール	8→16mg/2x(4w) 16-24mg/2x	○	○	×	貼付剤	
	リバスチグミン	イクセロン リバスタッチ	4.5→9→13.5 →18mg(4w)					
NMDA拮抗薬	メマンチン	メマリー	5→10→15 →20mg/1x(1w)	×	○	○	めまい	
抗Aβ抗体	レカネマブ	レケンビ		○	×	×		注射剤
	ドナネマブ	ケサンラ						

## □ 使用例

		薬剤
初期	抑うつ	アリセプト、レミニール、イクセロン
	興奮	メマリー
中期～後期		アリセプト増量＋メマリー

# ■抗精神病薬

	一般名	商品名	用量用法	作用			副作用			備考								
				抗幻	気分	鎮静	振戦	便秘	高糖									
第2世代	SDAM	ブレクスピプラゾール	レキササルティ	1-2mg/1x	+	+	±	0	±	±	持続筋注剤も							
	DPA	アリピプラゾール	エビリファイ	3-30mg/1x														
	SDA	ルラシドン	ラツーダ	40-80mg/1x食後	+	+		±				食後内服						
		ペロスピロン	ルーラン	12-48mg/3x								抗不安作用も						
		ブロナンセリン	ロナセン	8-24mg/2x食後								テープ剤も						
		パリペリドン	インヴェガ	3-12mg/1x朝								0	0	+	+	+	=リスパ0.5mg	
			ゼプリオン	25-150mg/4w													持続筋注剤	
			ゼプリオンTRI	175-525mg/12w													(TRI: 3.5倍量)	
		リスペリドン	リスパダール	1-12mg/1-2x											+			液剤も
			リス・コンスタ	25-50mg/2w														持続筋注剤
	MARTA	アセナピン	シクレスト	10-20mg/2x	+	++	++	±	±	±	舌下錠							
		オランザピン	ジプレキサ	2.5-20mg/1x	+	++		±	+	++	禁忌:							
		クエチアピン	セロクエル	25-750mg/2x	±	++		0	+		糖尿病							
		クロザピン	クロザリル	12.5-600mg/2x	++	0		+	++		白血球減少							
第1世	ブチロ系	ハロペリドール	セレネース	++	0	+	++	+	+		注射剤も							
	フェノ系	レボメプロマジン	レボトミン	±		++	+	++	+	筋注剤も								
	その他	ゾテピン	ロドピン	+		++	+	+	+	けいれんリスク								

## □使用例

		薬剤
不安時	軽度	クロチアゼパム
	中等度～重度	アルプラゾラム、エチゾラム
	高齢	セディール、グランダキシン
	肝障害	ロラゼパム
けいれん発作	発作重積	セルシン(5)1Aから緩徐静注。消失するまで。
	発作直後	ダイアップ座薬(4)1コ挿肛 フェノバル(100)0.5A筋注

### ※注意

直後：眠気(過鎮静)

筋弛緩作用→ふらつき(転倒)、呂律不良、呼吸抑制

脱抑制、せん妄

長期：依存形成、耐性、離脱症状、認知機能障害

### ※禁忌

飲酒←相互作用

急性の緑内障←抗コリン作用

重症筋無力症←筋弛緩作用

## □使用例

		薬剤
うつ不安	軽度	レクサプロ、ジェイゾロフト
	中等度～重度	リフレックス
意欲低下		サインバルタ、イフェクサー
うつ不安＋意欲低下		イフェクサー、サインバルタ、
パニック発作		ジェイゾロフト、パキシル、ルボックス
食欲低下		ドグマチール、リフレックス
うつ不眠		デジレル、テトラミド、リフレックス
強迫		パキシル、ルボックス
疼痛		サインバルタ、トレドミン
高齢		ジェイゾロフト、ドグマチール少量

### ※注意

賦活症候群：不安焦燥、衝動性→自殺リスク

高用量から開始、短期間で増量→セロトニン症候群：ミオクローヌス、自律神経症状

高用量から中止、短期間で減量→中断症候群：自律神経症状

## ■抗うつ薬

	一般名	商品名	用量用法	作用				副作用		備考
				抗うつ	意欲↑	食欲↑	鎮静	嘔気	便秘	
GABAA	ズラノロン	ザズベイ	30mg/1x	+	+	0	+	+	0	2週間のみ
S-RIM	ボルチオキセチン	トリンテリックス	10-20mg	+	+	0	0	0	0	性機能障害なし
NaSSA	ミルタザピン	リフレックス	15-45mg/1x眠	++	+	+	++	0	0	
SNRI	ベンラファキシン	イフェクサー	75-225mg/1x食後	+	++	0	0	+	0	低用量でSSRI
	デュロキセチン	サインバルタ	20-60mg/1x朝							疼痛にも
	ミルナシプラン	トレドミン	12.5-100mg/2x							
SSRI	エスシタロプラム	レクサプロ	10-20mg/1x	+	0	0	0	+	0	
	セルトラリン	ジェイゾロフト	25-100mg/1x							
	パロキセチン	パキシル	5-50mg/1x	++				++	+	慎重:未成年
	フルボキサミン	ルボックス	25-150mg/2x	+				+		
その他	スルピリド	ドグマチール	25-600mg/3x	+	+	++	0	0	0	抗精神病薬
	トラゾドン	デジレル	25-200mg1x	±	±	+	++	+	0	睡眠補助
四環系	ミアンセリン	テトラミド	10-60mg/1x					0	+	
三環系	アミトリプチリン	トリプタノール	30-250mg/3x	++	+	++	++	0	++	夜尿症にも
	クロミプラミン	アナフラニール	30-250mg/3x			+	+			点滴剤も

## ■気分安定薬

	一般名	商品名	用量用法	血中濃度	作用		副作用、備考
					抗躁	抗うつ	
元祖	リチウム	リーマス	100-1200mg/2x	0.3-1.2	+	+	振戦、脳波異常
抗てんかん薬系	バルプロ酸	デパケン	100-1200mg/2x	50-125	+	±	シロップ剤も
	カルバマゼピン	テグレトール	100-1200mg/2x	4-12	+	±	相互作用
	ラモトリギン	ラミクタール	25-400mg/1-2x	—	±	++	注意:バルプロ酸
抗精神病薬系	アリピプラゾール	エビリファイ	3-15mg/1x		++	+	禁忌:糖尿病
	オランザピン	ジプレキサ	2.5-20mg		++	++	
	クエチアピン	ビプレツソ	50-300mg/1x眠		+	++	
	ルラシドン	ラツォダ	20-60mg/1x食後	+	++		

## □使用例

			薬剤
不穏時 (急性期)	経口可 (内服)	軽度	セロクエル25mg、リスパダール1mg、ジプレキサ5mg
		重度	レボトミン25mg
		高齢	リスパダール0.5mg、デジレル25mg
	経口不可	筋注	ジプレキサ10mg、セレネース5mg、レボトミン25mg
		点滴	セレネース5mg＋生食50ml ロヒプノール(2)1A＋生食50ml ※入眠直後で中止 & SpO2モニタ
慢性期			エビリファイ、リスパダール、ジプレキサなど

### ※注意

抗ドパミン作用： 錐体外路症状： パーキンソン症状(手指振戦、筋強剛、無動)、  
急性ジストニア、アカシジア、遅発性ジスキネジア

悪性症候群： 高熱、筋強剛

高プロラクチン血症： 女性化乳房、乳汁分泌、月経異常

抗ノルアドレナリン作用： 過鎮静、射精障害、起立性低血圧、不整脈(QT延長)←循環抑制

抗コリン作用： 便秘、口渇(→水中毒)、尿閉、霧視、認知機能障害

抗ヒスタミン作用： 傾眠、耐糖能異常

その他： 肝障害、血球減少、けいれん、ピサ症候群

### ※禁忌

全身状態不良、昏睡、麻酔下、エピネフリン←抗ノルアドレナリン作用

## □使用例

		薬剤
躁状態	急性	ジプレキサ、エビリファイ
	維持	リーマス、デパケン
	急速交代	デパケン
うつ状態	急性	ラツーダ、ビプレツソ、オランザピン
	維持	リーマス、ラミクタール
情緒不安定		デパケン
高齢		デパケン